
Sherry ~ Un Sentiment Amoureux ~

菖蒲つぐみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

S h e r r y ｝ U n S e n t i m e n t A m o u r e u x ｝

【Nコード】

N 4 6 1 8 B

【作者名】

菖蒲つぐみ

【あらすじ】

灰原哀の心情を綴っています。哀の視点から周囲の人間関係（組織や宮野明美、コナンに対して）、そして決意が哀口調で語られています。暗めな話です。私の主観で書かれているので、ご考慮ください。

(前書き)

U n S e n t i m e n t A m o u r e u x Ⅱ (フランス語で)
恋愛感情

— S h e r r y 。

それは私につけられた、もう一つの名前。
生まれた時から組織の一員として課された宿命であり、同時に私自身
が黒の組織の一員であるという証。

いつからだっただろうか、宮野志保という私の本名が『S h e r r
y』という名のコードネームの陰に隠れ始めたのは。私のことを本
名で呼ぶ人間など居なかった。

そう——姉を除いては。

私の唯一の肉親であり、私の心の支えであつた——お姉ちゃん。

『志保！』

お姉ちゃんだけが、私のことを名前で呼んでくれる。S h e r r y
ではなく、宮野志保として私を見てくれている——素の私をさら
け出せる唯一の人。この世で唯一、信頼できる人。
かけがえのない大切な人だつたのに——

『裏切り者に居場所なんてねえんだ』

骨の髄まで凍りつくような彼の言葉。コードネームはジン——ウオッ力を従え組織の中核を担っている。左手に構えた拳銃で、彼は私の大切な姉を奪った。

もう二度と彼女に会うことはできない。

今でも私の脳裏に蘇る、姉の最期の笑顔——そして、それを掻き消すかのように映る、彼が私に銃口を向ける姿。

——思い出したくない。思い出したくないと思えば思う程、彼の姿——否、あの杯戸ホテルでの情景が鮮明に蘇る。

私の存在価値って？

この世に私の居場所なんてあるのかしら？

私のせいで周りの人に被害が及んでしまう——

『逃げるんじゃないぞ、自分の運命から。』

私と同じ境遇に陥りながらも、まるで英雄のごとく強い貴方。
こんな私のことを命懸けで助けに来てくれた――

信賴していた大切な姉を失った――天涯孤独な私。
でも、貴方なら信じられる気がするの。

もう逃げないわよ、私の――『灰原 哀』という名の運命から。
貴方のように、今を精一杯生きてみせるわ。

ねえ貴方のこと、信じていいわよね？――工藤くん。

（後書き）

こんにちは。この文章に私が込めた真意は二つあります。

○灰原 哀としての決意。組織に対して、忌避するのではなくコナンのように戦う、という自分の運命にしっかりと向き合うようになった姿を描いています。

○タイトルに恋愛感情とあるように、気付かぬうちに日に日に強くなっていくコナンへの想い。

又、荒らし対策の為、評価欄は設けておりません。感想等ございましたら、感想を書くからメッセージの方をどうぞ。尚、あらすじで記した通り私の主観が入っているので、原作とキャラが違う 等の作品に対する批評はお受け取りすることができません。では、遅くなりましたが読んで頂きありがとうございます f ^ | ^ ; 失礼します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4618b/>

Sherry ~ Un Sentiment Amoureux ~

2010年10月9日22時19分発行